

平成17年度高齢者ビジネスモデル実証事業の公募について

事業の概要

(1) 目的

本会の調査では、高齢者には「移動手段の支援」「作業の軽減・知識獲得の支援」「社会との接点・精神的支援」「高齢者用製品開発」等多くのニーズがあるということが明らかになっております。当事業は、これらのニーズに答え、ビジネスモデルになる取り組みを支援することとしております。

(2) 支援の内容

高齢者向けビジネスモデルになる取り組みに対し、支援対象となる経費は下記のとおりです、1グループ等に対し本会職員による助言のほか、25万円程度の支援を行います。

〈対象経費〉

借料・損料、会議費、会場設営費、謝金、旅費、資料費、消耗品費、印刷費

※支援経費の支払は、中央会から直接専門家等に支払を行います。

(3) 対象と選定方法

ア. 対象 県内で高齢者向けビジネスの展開を行う予定の協同組合等の法人、任意グループ、企業、個人

イ. 選定方法: 申込案件の中から、ビジネスとしての実現性、支援の必要性等について評価し、3グループ等(予定)を選定します。

ウ. 結果通知: 平成17年6月下旬までに申込者に通知いたします。

また、選定された案件については、事業名と事業主体者名及び簡単な概要を、報道機関にも通知いたしますので、ご了承下さるようお願いいたします。

申込の手続きと個人情報保護法

(1) 申込書に必要事項を記入し、参考となる書類を添付の上申込下さい。

(2) 応募締切日 平成17年6月16日(木)17時まで

(3) 様式 本会ホームページに記載

(4) 個人情報保護法関係

中央会の個人情報保護法に関する方針等はホームページに掲載しております、閲覧の上ご了承下さい。また、今回提出いただく個人情報は高齢者ビジネスモデル実証事業関係のみに使用いたします。

申込書の問い合わせ・提出先

山形県中小企業団体中央会 業務課

山形県工業会通常総会開催！

4月25日(月)山形市ホテルメトロポリタン山形で山形県工業会(会長:前田直己)の平成17年度通常総会が開催され原案通り可決された。今年度事業として、次世代の人材の確保を図る、「ものづくり産学交流推進事業」の実施、ISO14001 2005年度版移行に関する研修会の開催、先進地企業視察、トヨタ生産方式の研修企画並びに会員企業個別指導の斡旋など既存事業の充実に努めるとともに、時局に対応した事業の創出を推進していく。また、総会終了後、(株)エピクエスト代表取締役社長 前野弘志氏を迎え、「企業発ベンチャー 新規開発事業から新会社設立まで」と題した講演会を行った。



山形県商店街振興組合連合会開催

5月16日(月)山形グランドホテルにて山形県商店街振興組合連合会の通常総会が開催された。商店街は、高齢化社会を迎え、日常生活を支える公的空間・商業施設として大きな役割を果たしている。今後何よりも市民、行政、商店街が一丸となった新たな街づくりが望まれるっており、このような環境のもと、県内の中心商店街活性化のため「自助、互助、公助」をスローガンとして商店街の充実強化をはかる必要がある、

- ・店づくりの舞台(各店のマーチャンダイジング見直し)
- ・街づくりの目玉(各商店街のマーチャンダイジング見直し)
- ・商店街の中核としての振興組合、事業協同組合である

以上の3つの基本方針のもと交流会、研修事業等を推進していく予定である。

